製品安全データシート

１．製品等及び会社情報
1.1. 製品の特定
　製品名：　ローヤルアローＥＸコート水垢取り
　製品分類：　洗剤
　用途：　自動車ボディーの水垢取り
　使用上の注意：　上記用途以外に使用しないこと

１．２ 会社情報
　会社名：　株式会社ユーエスシー
　住所：　〒１８３－００４４　東京都府中市日鋼町１番１
　担当部門：　営業１部　担当者：
　電話番号：　０４２－３５１－００１１　ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０
　e-mail：
　改訂日：　２０２５年　３月３１日

２ 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類
＜物理化学的危険性＞
・引火性液体：　区分３
＜健康に対する有害性＞
・急性毒性（経口）：　区分に該当しない
・皮膚腐食性／刺激性：　区分２
・眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：　区分に該当しない
・特定標的臓器毒性（単回ばく露）：　区分３（麻酔作用、気道刺激性）
・特定標的臓器毒性（反復ばく露）：　区分２（肝臓、精巣）
・誤えん有害性：　区分１
＜環境に対する有害性＞
・水生環境有害性　短期（急性）：　区分１
・水生環境有害性　長期（慢性）：　区分１
上記に記載のない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」ことを示す。
ＧＨＳラベル要素
＜絵表示またはシンボル＞

＜注意喚起語＞：危険
＜危険有害性情報＞：
●引火性液体及び蒸気
●皮膚刺激
●眠気及びめまいのおそれ
●呼吸器への刺激のおそれ
●長期又は反復ばく露による臓器の傷害のおそれ（肝臓、精巣）
●飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
●水性生物に非常に強い毒性
●長期的影響により水性生物に非常に強い毒性
注意書き
＜安全対策＞：
＊すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
＊使用前にラベルをよく読むこと。
＊上記用途以外には使用しないこと。火花、裸火、高温のような着火源から遠ざけること。
＊換気のよい場所で使用し、蒸気やミストなどの吸入を避けること。
＊取扱い時は、保護手袋等の適切な保護具を着用すること。
＊取扱い時は、飲食や喫煙をしないこと。
＊取扱い後は、手洗い、うがい及び洗顔を行い、作業衣等に付着している場合には着替えること。
＊環境への放出は避けること。
＜応急措置＞：
＊多量に蒸気やミストなどを吸引した場合は、直ちに新鮮な空気の場所へ移動し保温しながら安静にする。異常を感じる場合

や気分が回復しない場合には医師の診断を受けること。
＊皮膚に付着した場合は、清浄な流水と石鹸を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受けること。
＊眼に入った場合は、直ちに清浄な流水で洗眼する。洗眼の際、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るようにしする。刺激等の異常が残る場合には医師の診断を受けること。
＊飲み込んだ場合は、直ちに口をゆすぐ。吐かずに異常を感じる場合には医師の診断を受けること。

＜保管＞：
＊高温、火気、凍結のおそれのある場所を避けて保管すること。
＊液が漏出しないように使用後は必ず密封して保管すること。

＜廃棄＞：
＊廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3．組成・成分情報

＜単一製品・混合物の区分＞：混合物
＜化学名又は一般名＞：液体洗浄剤
＜成分及び含有率＞：

成分名	含有量 wt%	ＣＡＳ No.	化審法No.	安衛法No.	化管法No.	毒劇法No.
ミネラルスピリット	20-30	8052-41-3	9-1702	551	非該当	非該当
シリコーン類	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
研磨剤	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
増粘剤	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
乳化安定剤	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（不純物）	4.3	25551-13-7	3-3427	404 (1426)	1-342 (691)	非該当
ノナン（不純物）	3.2	111-84-2	2-9	432 (1515)	2-081 (791)	非該当
キシレン（不純物）	1未満	1330-20-7	3-3	136 (426)	非該当※1	非該当※2
クメン（不純物）	1未満	98-82-8	3-22	138 (437)	非該当※1	非該当
水	バランス	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当

注）化審法No.　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法No.　労働安全衛生法（安衛法）政令番号
令別表第9、() 内は規則別表第2(令和7年4月1日施行)
PRTR 法No.　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号
() 内は管理番号
※1　含有量の関係で非該当
毒劇法No.　毒物及び劇物取締法の政令番号
※2　含有量の関係で非該当

4．応急措置

＜吸入した場合＞：
多量に蒸気やミストなどを吸引した場合は、直ちに新鮮な空気の場所へ移動し保温しながら安静にする。異常を感じる場合や気分が回復しない場合には医師の診断を受けること。

＜皮膚に付着した場合＞：
皮膚に付着した場合は、清浄な流水と石鹸を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受けること。

＜眼に入った場合＞：
眼に入った場合は、直ちに清浄な流水で洗眼する。洗眼の際、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るようにしする。刺激等の異常が残る場合には医師の診断を受けること。

＜飲み込んだ場合＞：
飲み込んだ場合は、直ちに口をゆすぐ。異常を感じる場合には医師の診断を受けること。

5．火災時の措置

＜適切な消火剤＞：
霧状の水、炭酸ガス、泡、粉末
＜使ってはならない消火剤＞：
棒状放水
＜特有の危険有害性＞：
刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
＜特有の消火方法＞：
危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動できない場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
＜消火を行う者の保護＞：消火活動は風上から行い有害なガスの吸入を避ける。適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）を着用する。

6．漏出時の措置

＜人体に対する注意事項＞：
漏出した場所にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、作業の際は、適切な保護具を着用して身体との接触を避ける。密閉された場所に立ち入る前には換気する。
＜環境に対する注意事項＞：
漏洩物が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。水で洗い流す場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境に流出しないように注意する。
＜中和などの浄化の方法及び機材＞：
漏洩した液は、おがくず、土砂、紙などに吸収させ、空容器に回収する。漏出区域周辺は多量の水で洗い流す。

7．取扱い及び保管上の注意

＜取扱い上の注意事項＞：
換気の良い場所で使用し、容器は使用毎に密栓する。
ミストの発散を抑え、作業環境濃度を出来るだけ低く保つように努める。
発生させたミストは吸い込まないようにする。
取扱い時は、適切な保護具を着用する。
取扱い後は、うがい・洗顔を行うこと。作業衣等に付着した場合は着替えること。
他の薬剤と混合させないこと。
付近に着火源となるもの(火気・スパーク・高温物)の使用を避ける。
容器を転倒、落下させる等の衝撃を加える乱暴な取扱をしない。
環境への放出は避ける。
＜保管上の注意事項＞：
液が漏出しないように密栓する。
高温多湿化での保管を避ける。
凍結の恐れのある場所での保管を避ける。
高温体との接触を避ける。

8．ばく露防止及び保護措置

＜製品の有害性及び暴露濃度基準＞
保護具：　保護眼がね、保護手袋等 有機溶剤用保護マスク
設備対策：　防爆の電気機器の使用、局所排気装置
＜組成物の有害性及び暴露濃度基準＞

原料名	管理濃度	許容濃度 ＡＣＧＩＨ	許容濃度 ＩＡＲＣ	その他
ミネラルターペン	設定されてない	１００ｐｐｍ	設定されてない	情報なし
シリコーン類	設定されてない	設定されてない	情報なし	情報なし
研磨剤	１０(ｍｇ／ｍ３)	２（ｍｇ／ｍ３）	情報なし	情報なし

化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質）：
トリメチルベンゼン（八時間濃度基準値：10ppm、試料採取方法：固体捕集方法、分析方法：ガスクロマトグラフ分析方法、適用日：2025/10/01）
ノナン（ノルマルーノナンに限る。）（八時間濃度基準値：200ppm、試料採取方法：固体捕集方法、分析方法：ガスクロマトグラフ分析方法、適用日：2025/10/01）
クメン（八時間濃度基準値：10ppm、試料採取方法：固体捕集方法、分析方法：ガスクロマトグラフ分析方法、適用日：令和６年４月１日）
皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質：

キシレン（皮膚吸収性有害物質）

９．物理的及び化学的性質

＜化学品の外観＞：	白色エマルジョン液体
＜臭い＞：	石油臭
＜凝固点、沸点、初留点及び沸騰範囲＞：	データなし
＜引火点、自然発火温度＞：	５０～６０℃
＜燃焼又は爆発範囲の上限、下限＞：	爆発限界１～７vol％（推定値）
＜蒸気圧、蒸気密度＞：	データなし
＜比重（相対密度）＞：	0.9～1.0（原液　２０℃）
＜溶解度（溶解性）＞：	水に分散する
＜ｐＨ＞：	9.5～10.5
＜酸化性＞：	なし

１０．安定性及び反応性

＜安定性＞　通常の取り扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
＜避けるべき条件＞　高温 スパーク 裸火
＜混融危険物質＞　なし
＜危険有害な分解生成物＞　なし

１１．有害性の情報（主な成分）

ミネラルスピリット
＜急性毒性＞
経口 ラット LD50 ＞2 g/kg
経皮 ウサギ LD50 ＞2 g/kg
吸入(蒸気) ラット LC50 ＞５mg/kg
＜皮膚腐食性＞ 情報なし
＜皮膚刺激性＞ 弱い刺激性あり
＜眼に重篤な損傷・刺激性＞ 高濃度の蒸気やミストは眼を刺激する。
＜呼吸器感作性または皮膚感作性＞
呼吸器：高濃度の蒸気を吸入すると呼吸器を刺激したり、頭痛、めまい、麻痺状態、眠気、意識をなくすなどの原因となる。
＜生態細胞変異原性 in vivo 経世代変異原性試験（ラット、マウス）＞：陰性
＜発ガン性＞ ＬＡＲＣ ：グループ３に属する
＜生殖毒性＞ ラットを用いた妊娠中吸入暴露試験：生殖毒性は認められず。（４００ppm）

シリコーン類
現時点では、通常に取扱いによる有害性は確認されていない

研磨剤
＜急性毒性＞ ＬＣＬ０ ３７５(ｍｇ/ｍ３) ６０日間投与
＜慢性毒性＞ 過剰の量を吸入すると、肺病の可能性あり
＜皮膚腐食性＞ 情報なし
＜皮膚刺激性＞ 刺激の可能性あり
＜眼に重篤な損傷・刺激性＞ 眼にダストが入ると痛みを伴う可能性あり
＜生態細胞変異原性 in vivo 経世代変異原性試験（ラット、マウス）＞：陰性
＜発ガン性＞
ＮＴＰ リストアップされていない
ＬＡＲＣ リストアップされていない
ＯＳＨＡ リストアップされていない
＜その他＞ 情報なし

１２．環境影響情報（主な成分）

製品についての有害性情報はないため成分についての有害情報性を示した
ミネラルスピリット
＜水性環境急性有害性＞ 甲殻類（オオミジンコ）の４８時間 LC50＝0.42～2.3mg/L
＜水性環境慢性有害性＞ 急速分解性がない（BOD による分解度：12-13%）、生物蓄積性不明
シリコーン類 現在のところ、有用な情報は得られていない
研磨剤 生分解性なし

１３．廃棄上の注意

＜安全で環境上望ましい廃棄の方法＞：
廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理する。
＜容器・包装の適正な処理方法＞：
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。
容器などを洗浄した排水はそのまま流さず、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、専門の業者に委託する。

１４．輸送上の注意

＜国連分類＞ クラス ３(引火性液体)
＜国連番号＞ １２６８
＜陸上輸送＞ 取扱い及び保管上の注意の項に従う。
＜海上輸送＞ 船舶安全法に定めるところに従う。
＜航空輸送＞ 航空法に定めるところに従う。
注意事項 運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、 荷崩れの防止を完全に行う。

国際規制

＜国連番号＞：	１２６８
＜品名＞：石	油製品（他に品名が明示されているものを除く。）
＜危険物クラス＞：	クラス３(引火性液体)
＜容器等級＞：	Ⅲ
＜緊急時応急措置指針番号＞：	１２８

１５．適用法令

消防法 第４類引火性液体、第２石油類
労働安全衛生法 名称などを表示すべき有害物：
ミネラルスピリット
トリメチルベンゼン
ノナン
キシレン
名称などを通知すべき有害物：
ミネラルスピリット
トリメチルベンゼン
ノナン
キシレン
クメン
化学物質による健康障害防止のための濃度の基準（濃度基準値設定物質）：
トリメチルベンゼン（八時間濃度基準値：10ppm、試料採取方法：固体捕集方法、分析方法：ガスクロマトグラフ分析方法、適用日：2025/10/01）
ノナン（ノルマルーノナンに限る。）（八時間濃度基準値：200ppm、試料採取方法：固体捕集方法、分析方法：ガスクロマトグラフ分析方法、適用日：2025/10/01）
クメン（八時間濃度基準値：10ppm、試料採取方法：固体捕集方法、分析方法：ガスクロマトグラフ分析方法、適用日：令和６年４月１日）
皮膚等障害化学物質等及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質：
キシレン（皮膚吸収性有害物質）

危険物引火性の物
第３種有機溶剤など：ミネラルスピリット
毒物及び劇物取締法 該当せず
ＰＲＴＲ法 第一種指定化学物質：トリメチルベンゼン 1-342(691)
第二種指定化学物質：ノナン 2-081(791)

16 その他の情報

引用文献
ＧＨＳ対応による混合物（化学物質）の MSDS 作成法の研修テキスト 中央労働災害防止協会
１５１０７の化学商品 化学工業日報社
製品安全データシート 各原料メーカー
ＧＨＳ分類対象物質一覧 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により
改訂されることがあります。又危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので製品の取扱いには充分注意して下さい。また、情報は
安全を保証するものでは有りません。本品の適正な使用については使用者の責任において行ってください。